

## 大規模災害時廃棄物対策北海道ブロック協議会（第16回）

### 議事要旨

#### 1. 開催日時

令和5年2月22日（水）10:00～12:00

#### 2. 開催場所

北海道中小企業会館 会議室A・B・C

オンライン併用

#### 3. 議題

(1) 要綱の改定について

(2) ブロック行動計画第2版（案）について

(3) 広域連携の検討結果について

(4) ロードマップの改定について

(5) 報告事項

- ・市町村災害廃棄物処理計画策定ワークシート及び支援マニュアルの改訂について
- ・モデル事業の実施結果について

(6) その他

#### 4. 議事

(1) 要綱の改定について

- ・要綱の改定について事務局より説明され、承認された。
- ・ブロック協議会の民間団体として北海道環境保全協会に参加いただく旨について事務局より提案し、承認された。
- ・エリア分科会のオブザーバーとして一部事務組合と広域連合に参加いただく旨について事務局より提案し、承認された。
- ・ブロック協議会及びエリア分科会の取り組みの想定について事務局より説明された。

(2) ブロック行動計画第2版（案）について

- ・事務局よりブロック行動計画の改定（案）について説明された。

(3) 広域連携の検討結果について

- ・広域連携に関する検討結果について事務局より説明された後、意見交換が行われた。

(4) ビジョン・ロードマップの改定について

- ・ビジョン・ロードマップの中間見直しについて事務局より説明され、承認された。

(5) 報告事項

- ・市町村災害廃棄物処理計画策定ワークシートの改訂内容について事務局より説明された。
- ・本年度実施した人材育成、計画策定支援事業について、事務局より報告された。

【意見交換】

- 北海道 循環型社会推進課
  - ・ 広域連携の部分、産業廃棄物処理施設の最終処分能力の値は安定型処分場を含めた推計値か。
- 事務局（アジア航測）
  - ・ 産業廃棄物処理施設の最終処分能力の算出は、北海道の令和元年度北海道産業廃棄物処理状況調査結果をもとに行っており、同調査結果では処理方法が分類されていないため、こちらの推計では分類されていない。
- 北海道 循環型社会推進課
  - ・ 実際災害時には安定型処分場では受け入れられない可能性があるかと予想する。また、一般廃棄物については、市町村によってゴミの区分や処理方法が違うため、広域連携する際には難しい。産業廃棄物の最終処分能力は管理型処分場で見直した方がよいかと思う。
- 事務局（環境省）
  - ・ 一般廃棄物の焼却や最終処分について、特にプラスチックの処理は市町村別に異なり、全体的な計算が難しい。他地域との協定締結の中で、ゴミの処理方法について協議するべきだと想定する。
- 北海道大学
  - ・ 広域連携について、石狩では×という意味は、エリア内に災害廃棄物処理を振り分けても処理しきれないという意味であるか。その場合、他のエリアとの連携が必要であることだろう。また、資料に北海道で×が出る場合、他ブロックとの連携が必要だと考えられるため、このような検討結果を他ブロックに共有する必要があるのでは。今後の他ブロックとの関わりについて教えていただきたい。
- 事務局（環境省）
  - ・ 東北ブロックと情報共有をする予定である。また、不燃物が道内で処理できなくても、再生利用に充てた場合などについては、本検討に含まれていない。それらを入れると道内での処理が可能であると考ええる。
- 北海道大学
  - ・ 2.7年の処理能力が前提か。その場合、×が○になるには何年が必要、といった情報もあると良いと思う。
- 事務局（環境省）
  - ・ 検討させていただく。
- 北海道産業資源循環協会
  - ・ 相互連携にある結果について、計算の方法を説明してほしい。
- 事務局（アジア航測）
  - ・ 推計の考えについて、資料をご覧ください。
- 北海道産業資源循環協会
  - ・ 焼却の処理可能量の計算方法も説明してほしい。
- 事務局（アジア航測）
  - ・ 災害廃棄物の技術指針に基づき、焼却施設の年間最大処理能力のうち、一般廃棄物に充てる量を

除いた残りの部分を災害廃棄物の処理可能量としている。最終処分場については、今後 10 年の一般廃棄物の埋立量を除いた量を処理可能量としている。

- 釧路市 市民環境部環境事業課
  - ・ 資料の災害廃棄物発生量は、昨年度公表された全壊データのほかに、公表されていない半壊データ等を含むか。
- 事務局（アジア航測）
  - ・ 発生量の計算は北海道提供データを用いて行っている。そのため、非公開の部分である半壊、焼失棟数を使用したほか、公開されている津波の浸水データを基盤地図情報の建物地図と重ね合わせて浸水棟数も算出した。
- 国土交通省北海道開発局防災課
  - ・ 災害廃棄物発生量について、地震発生条件は日本海溝と千島海溝が同時発生の場合。
- 事務局（アジア航測）
  - ・ 各市町村における日本海溝による地震と千島海溝による地震が発生した時のそれぞれの被災棟数について、大きいほうを選択して廃棄物量の算出に用いている。
- 国土交通省北海道開発局防災課
  - ・ もし日本海溝による地震が発生する場合、東北ブロックでも処理し難しいと考えられる。他ブロックとの広域連携では東北ブロックだけでよいのか。
- 事務局（環境省）
  - ・ 東北ブロックの次は関東ブロックという順番で想定している。
- 国土交通省北海道開発局防災課
  - ・ 他ブロックでも同じような連携を想定しているか。
- 事務局（環境省）
  - ・ 東北ブロックでは北海道ブロックの協力を求めることになっているが、基本的にブロック内で処理することとなっている。災害時のブロック間の広域連携については、順位付けがされている。
- 北海道大学
  - ・ ブロック間連携について話し合う場、情報共有の場を構築すべきだと考えている。
- 事務局（環境省）
  - ・ 今後検討する。
- 北海道大学
  - ・ 災害廃棄物発生量について、津波を考えた場合、最初に混合ゴミとして出るトータルの量と、仮置場で選別の能力、仮置場の面積などが大事だと考えている。また、まとめた廃棄物種類以外にも、特に津波の場合、廃自動車や電機など他の種類もある。東日本の実績に基づいて推計するのもよいか。
- 事務局（アジア航測）
  - ・ 仮置場について、資料編では、振興局ごとに仮置場の必要面積が掲載されているので、ご覧いただきたい。
- 釧路市 市民環境部環境事業課

- ・ 日本海溝千島海溝の災害廃棄物処理可能量、仮置場の必要面積など、市町村の個別データを共有いただけるか。
- **事務局（アジア航測）**
  - ・ 要望があれば事務局に連絡いただければと思う。
- **北海道産業資源循環協会**
  - ・ エリア分科会の動きについて、今後具体的な動きを知りたい。
- **事務局（環境省）**
  - ・ 今後各市町村に周知、参加のお願いをし、スケジュールは資料に沿って進行したい。また、北海道環境保全協会、北海道社会福祉協議会への参加依頼、陸上自衛隊のオブザーバーとしての参加依頼を行う予定である。

#### 4. 閉会